



能登に春を運ぶ

# 宇出津 曳山祭



4月16日、17日、3年ぶりとなる「宇出津曳山祭」が開催され、2台の山車が宇出津地区を練り回りました。  
曳山祭は、酒垂神社、白山神社両社の春祭り、およそ500年前に畠山七尾城主が五穀豊穡を祈願し、神事を行った際の出し物とされています。

2台が揃い踏みする場面では多くの見物人がカメラ撮影する姿が見られました。



見どころの1つ、辻回し。山車には舵がなく、曲がり角では、テコかきによって方向を変える。



疫病退散を願い、太鼓グループ「縄文女太鼓」が演舞を披露した。

今年、白山曳山が「素戔鳴尊すさのおのみこと」八岐大蛇やまたのおろち、酒垂曳山は「桶狭間の戦い」を題材に、両神社の氏子たちが作り上げました。

初日、高さ約6尺の曳山は、子どもたちを乗せて昼過ぎに出発。氏子らが「チヨウサー ヤー」の掛け声や木遣り唄に合わせて綱を引、町内をゆつくり巡行しました。夕方、2台が役場横に到着し、「縄文女組太鼓」が披露されました。

2日目は未明、白山曳山が酒垂曳山を迎えに行き、早朝の町を進みます。午後からの「本山」では神輿も運行し、2台の山車が連なって町内を回りました。

コロナ禍により、マスク着用、引綱の定期的な消毒などの感染症対策の下、熱気に包まれた2日間が終わりました。

## みつめる未来 第14回能登高校入学式

4月8日、県立能登高等学校で令和4年度の入学式が行われました。保護者や来賓などの関係者らの温かな拍手に迎えられながら入場した新入生らが、担任の先生に一人ひとりの名前を読み上げられ、角秀明校長が入学を許可しました。新入生を代表し、普通科の西海能仁よしのとさんと地域産業科の廣田佳奈さんが宣誓しました。角校長が「あいさつと感謝の気持ちを持って、高校生活を送ってほしい」と式辞を述べました。

本年度は、普通科に31人、地域産業科に22人の合わせて53人が入学しました。



新入生代表の決意を述べる西海さん(右)と廣田さん(左)

## 地域みらい留学 能登高留学第2期生

4月8日、令和4年度の能登高等学校始業式が行われ、能登高留学の第2期生3人が紹介されました。

本年度、能登高で新たな生活を送るのは、瀧元更良たきもとさらさん、神奈川県Ⅱ、関根万葉せきねまなはさん、東京都Ⅱ、上野壱生うのいちせいさん、福井県Ⅱです。地域産業科2年生に編入した3人は、柳田の学生寮「鳳柳寮」に入寮し、それぞれ、水産・農業・ビジネスコースで学びます。普通科の授業やまちなか鳳雛塾のゼミなどにも参加しながら1年間を能登で過ごします。

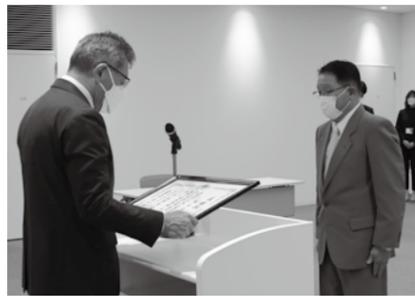
「能登高留学」とは・・・  
能登高校は令和2年度に内閣府の「高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業」に採択され、令和3年度の「地域みらい留学365」第1期生を迎えました。本年度も、新たな場所で挑戦を求める高校2年生が1年間、第2期生として在籍校から能登高校へ留学し、能登の里山里海で学び充実した高校生活を送ります。



左から順に関根さん、瀧元さん、上野さん



新たに就任した坂下さん



感謝状を受ける本谷さん

ニュース

人権擁護活動に感謝  
後任に坂下秀治さん

4月6日、役場で人権擁護委員感謝状・委嘱状伝達式が行われました。4期12年3か月にわたり人権擁護活動に尽力した真脇の本谷憲市さんに大森町長から法務大臣感謝状が伝達されました。

後任には、坂下秀治さん、羽根さんが就任し、再任の坂尻敏枝さん、小間生さんとともに、委嘱状が交付されました。任期は4月1日からの3年間です。

「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」締結



協定書を手にする大森町長と萩野北陸支店長

町は佐川急便株式会社（京都市）と、「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」を締結しました。

3月23日、役場で行われた締結式では、酒元法子町議会議長が立会人を務め、大森町長と佐川急便(株)北陸支店の萩野崇支店長が調印を行い、協定書を交わしました。

同社は、全国各地の自治体と災害時の協力協定締結を進めています。協定では、支援物資の受け入れや配送等が困難となる場合の、配送計画の策定や人員・機材の提供などの支援

について定められ、今後、大規模災害が発生した際に、同社が全国から届く支援物資の管理や避難所への配送などで協力します。

大森町長は、能登地方で地震が頻発していることに触れ、「支援物資の輸送手段体制の確立は重要な課題であり、大変心強い」とあいさつしました。

**危機管理室からのお知らせ**  
**災害に備えよう**  
～防災は日頃の備えが大切～  
令和2年12月より能登地方を震源とする地震が頻発しています。災害はいつ起こるかわかりません。今一度、家族で防災について話し合うなどして災害に備えましょう。

- ①お住まいの地区のハザードマップを確認する  
危険な箇所等は事前に把握しておきましょう。
- ②指定避難所、指定緊急避難場所を確認  
避難所や避難場所までの道のりも確認しておきましょう。
- ③非常持出品・備蓄品を準備しておく  
非常持ち出し品は個人単位で、備蓄品は3日分をめぐりに準備しましょう。
- ④家の中をチェックし、家具を安全に配置する  
避難のとき危険にならないよう、家具が倒れない措置などを行いましょう。

件名	場所	担当課	契約額	落札者
令和3年度 緊急自然災害防止対策事業 五十里地区復旧工事	五十里	農林水産課	7,480,000円	(株)モアグリーン
令和3年度 国民宿舎やなぎだ荘 自家発電機更新工事	柳田	ふるさと振興課	7,172,000円	(有)広田電気
能登町公共下水道施設 運転管理業務	恋路 他3	建設水道課	63,360,000円	(株)ウォーターエージェンシー 北陸オペレーションセンター
能登町農業集落排水施設 (柳田処理区) 運転管理業務	石井 他7	建設水道課	11,484,000円	(有)のとクリーンサービス
能登町漁業集落排水施設 運転管理業務	布浦 他1	建設水道課	5,214,000円	(有)能登浄化槽管理センター
令和3年度 ラブロ恋路 給湯設備改修工事	恋路	ふるさと振興課	32,450,000円	(株)西中建設

入札結果 3月15日～4月14日 契約金額500万円以上の入札結果です。全入札結果は町ホームページに掲載しています。 企画財政課 62-8535

豊作願い矢を放つ  
「弓引き祭り」



4月3日、十郎原の日桂神社で「弓引き祭り」が行われ、五穀豊穡と長引く新型コロナウイルス感染症の収束を祈りました。

神事が行われ、甲冑姿の氏子らがお祓いを受けたあと、神社前の「ぼんぼ」と呼ばれる御旅所へ向かいました。煙がいぶされる中、氏子らは大将役の高尾昭雄さんの号令に合わせて、一斉に矢を放ちました。天に向かつて放つ矢によって、害虫を追い払い、豊作を願います。

境内で行われた弓引き神事では、氏子と神職がおよそ7分離れた直径30メートルほどの的をめがけて矢を放ちます。狩衣姿の猿田彦が邪魔に入る中、射手は真剣な面持ちで狙いを定め、次々と弓を引きました。

今年は見事6本が命中。当たった矢が多いほど豊作になるとされ、命中するたびに氏子や見物客から拍手や歓声が沸き起こりました。

力強く弓を引く、大将役の高尾さん。今年は一射目から命中し、豊作が期待される。



お知らせ  
国民年金保険料には免除・納付猶予制度があります

国民年金保険料を納め忘れの状態や、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由などで、国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる制度がありますので、役場窓口でお手続きください。失業などの理由で申請されるときは、失業したことが確認できる証明書等のコピー（雇用保険受給資格者証の写しまたは雇用保険被保険者離職票等の写し等）を添付してください。

過去の期間は、申請時点の2年1か月前の月分までさかのぼって申請することができず、令和4年度分（令和4年7月分）から令和5年6月分までの免除等の受付は令和4年7月1日から開始です。

受付窓口 住民課・各支所  
必要なもの 基礎年金番号通知書または年金手帳・失業を理由とする場合は離職票や船員手帳

☎住民課年金係 (62) 8510

ニュース  
新入生に交通安全グッズ贈呈



西島署長から眞智教育長に反射たすきが手渡された

町内の新小学一年生、新中学一年生に交通安全団体から交通安全グッズが贈られました。

3月31日、役場で贈呈式が行われ、中山幸永町交通安全協会長からランドセルカバー、能登レイドライバーズクラブの室谷信子内浦支部長から涅槃団子のお守り、酒元法子能都支部長から文房具セットが眞智教育長に手渡されました。また、西島哲也珠洲署長からは新中学一年生向けに反射たすきが手渡されました。

本年度の新一年生は、小学生71人、中学生81人です。ランドセルカバーなどのグッズは、町教育委員会を通じて配布されました。



## 特 能都郵便局に珠洲警察署長感謝状贈呈 殊詐欺を未然に防止

特殊詐欺の被害を未然に防いだ能都郵便局と局員の岩井早苗さんに珠洲警察署から感謝状が贈られました。

3月30日、尾形優局長らが役場を訪れ、「振り込め詐欺被害防止優良店」となったことを大森町長に報告しました。今年1月、高齢男性が海外に振り込み手続きに訪れたのを不審に思った岩井さんが警察に連絡、被害防止につながりました。岩井さんは、2度目の被害防止となり、「マイスター」に認定されました。



感謝状を手にする尾形局長（左）と岩井さん（右）

神事後、教職員らを乗せ初航海に出る「しおさい」



## 2 能登高校教習艇進水式 代目「しおさい」安全祈る

3月30日、能登高校の教習艇「しおさい」の進水式が行われ、教職員ら15人が船の安全を祈りました。「しおさい」は水産選択の生徒らが小型船舶操縦士の免許取得の練習に使用し、これまで11年間で170人の免許取得者を育成してきました。老朽化に伴う更新で、2人乗りから一回り大きく6人乗りとなり、屋敷秀樹教頭（当時）は「今後は、水産に関わる人材育成にも取り組んでいきたい」とあいさつしました。

地域おこし協力隊の委嘱状を手にする小澤さん



## 自 地域おこし協力隊委嘱状交付式 自然や伝統文化を発信

4月1日、役場で大阪府豊中市出身の小澤弘壮さんが、地域おこし協力隊の委嘱状を受け取りました。

大学卒業後は地方で暮らしたいと考えていた小澤さんは、在学中から日本各地で長期滞在を経験、昨年の夏には能登も訪れたそうです。

まちなか鳳雛塾では、中高生の国語や英語を指導するほか、地域学も担当します。「能登の自然や伝統文化を映像を通じて発信したい」と意気込みを語りました。

## い 100歳ご長寿 つまでもお元気で 浅田正枝さん、船本 榮さん

3月27日、本木の浅田正枝さんが100歳を迎えられ、入所している柳田温泉病院で職員から長寿祝い状と花束を受け取りました。

浅田さんは若い頃から、曲がったことが嫌いで一生懸命働いてきました。この日は、職員らに囲まれて100歳の誕生日を祝福され、嬉しそうな様子でした。

職員らに囲まれ笑顔の浅田さん▶



祝い状を手にする船本さん▼



3月28日、宇出津の船本榮さんが100歳を迎えられ、町長から長寿祝い状と花束を受け取りました。

船本さんは天気の良い日に買い物に行くことを日課としています。食べ物の好き嫌いはなく、特に肉が好きでビールも少し飲まれます。この日は、息子さんとケアマネジャーから100歳の誕生日を祝福され、嬉しそうな様子でした。

## 春の全国交通安全運動出発式 事故のない住みよいまちに

4月5日、春の全国交通安全運動出発式が役場で行われ、交通推進隊や交通安全協会、安全運転管理者協議会など、およそ30人が参加しました。

式では交通推進隊の首田正次隊長が、悲惨な事故防止と交通安全の推進活動に向け、力強く決意宣言をしました。終了後、交通安全協会の中山幸永会長の合図に合わせ、パトカーや推進隊員の車が、役場前からランプ警戒へと出発しました。



中山会長、大森町長に決意宣言する首田交通推進隊長

## 柳田小 栽培漁業ミニ体験教室 大きく育て！ ヤマメ放流

柳田小学校では、昨年12月から5年生を対象に、ヤマメの稚魚を飼育する栽培漁業体験教室が行ってきました。児童らは、水槽の水替えやエサやりなどの世話をし、発眼卵だったヤマメは体長4センチほどまで育てました。

3月22日、自分たちが飼育したヤマメ40匹と県水産総合センターで飼育した500匹を町野川に放流しました。稚魚は1か月ほどで10センチまで成長します。



「大きくなってね」と声をかけながら放流する児童たち

満開の花を眺める来場者たち



## 能 のとクリシマ しいのき迎賓館で展示 登の春を一足早く紹介

「花の力」プロジェクト実行委員会の「のとクリシマツツジ展」は3月15日から6日間、金沢市にあるしいのき迎賓館で開かれました。

のとクリシマツツジの知名度を高め、多くの観光客に奥能登まで足を運んでもらうことが狙いです。開花時期を1か月半ほど早めた盆栽6鉢が並べられ、16日には「のとクリシマレディ」2人が会場で花をPR。来場した人たちは一足早い春を感じていました。

ま  
ち  
の  
出  
来  
事